



green
GLUING

手提げ紙袋を

信頼性の高いコールドグルー塗布で効率的に製造します。

「PAPERIZATION」を簡単に

簡単に再生が可能な手提げ袋への注目が高まり、多くの包装資材メーカーに新たな課題をもたらしています。ますます多くのプラスチックや可塑化素材が紙に置き換えられる中、生産プロセスの部分的な変更が必要となっています。つまり、ホットグルー塗布がコールドグルー塗布で置き換えられるのです。

コールドグルーによる手提げ袋の製造

コールドグルーとは、紙に浸透し、耐熱性をもつ接着剤です。接着は確実かつ不可逆的に行われます。このため、紙製の手提げ袋や平紐の製造に最適です。

Presto、あらゆる塗布幅に対応

コーティングヘッド Presto は、接着プロセスにおけるあらゆる塗布幅に対応します。クラフト紙に細く塗布することも、紙製品のウェブに幅広く塗布することも可能です。必要に応じて、Prestoは手提げ袋の側面接着にも使用できます。電動コーティングヘッドは静音かつ高速に動作し、精密なカットオフと正確でシャープなエッジを実現します。その良質な塗布によって従来の余分な糊代を省略できるため、クラフト紙の節約にもつながります。これにより、手提げ袋内側に余分な縁が生じないようになります。

Sempre、ビードの塗布を確実に

電動スプレーヘッド Sempreは、正確で安定した平紐、底面および側面の接着に使用します。接着剤塗布量は、液圧レギュレータとコーティングヘッドに内蔵されたストロークアジャストメントによって正確に調整されます。このため、接着剤が紙縁を越えることはありません。

メリット

- すべての接着ステーション用として、2つだけのコーティングヘッドを用意: スペアパーツの維持、トレーニング、メンテナンスが容易に
- 電動コーティングヘッド: 静かな動作、最大10億サイクルの長寿命、正確なエッジシャープネスとカットオフ精度、低い設置コストおよび運用コスト
- 迅速交換可能なマスクによって 平面塗布の幅を簡単に変更可能
- 細くコンパクトなコーティングヘッド構造のため省スペース
- 簡単なシステム統合: 塗布ヘッドの制御がPLCからであれば接着剤圧力最大15 barまで、専用コントロールユニットからであれば最大30 barまで可能



Presto、最大塗布幅165 mmのマルチヘッドとして



マスクによって塗布幅を簡単に変更可能



Sempre、底面および側面の接着のためのビード塗布



- 1 平面塗布 平紐
- 2 ビード塗布 クラフト紙
- 3 平面塗布 紙製品ウェブ
- 4 ビード/平面塗布 側面
- 5 ビード塗布 底面

手提げ紙袋製造のためのコールドグルー塗布ステーション

Copyright Robatech AG 2024 | 情報は予告なく変更されることがあります